



下野市長 広瀬 寿雄

新年、明けましておめでとうございます。

市民の皆様には、希望に満ちた輝かしい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年7月の市長選挙におきまして、多くの皆様のご支援をいただき、2期目の下野市政をお任せ頂きました。元日の朝を迎え、本市のさらなる発展に向けて、決意を新たにいたしました。

さて、我が国の社会・経済情勢は、円高やデフレの長期化等により、依然として厳しい状況が続いております。国では、補正予算措置等による経済対策を講じていることから、一日も早い景気の回復が望まれるところであります。

本市におきましても、自主財源であります市税の減少や社会保障費の増加などにより、厳しい財政運営が続いていることから、第2次下野市行政改革大綱実施計画に基づき、さらなる行財政運営の改善に取り組んでまいります。

昨年を振り返りますと、「がんの予防・早期発見をするための検診」や「小学校6年生から中学校3年生の女子を対象とした子宮頸がん予防ワクチン接種」の無料化をはじめ

「中学校3年生までの子ども医療費の無料化」の継続など、「人に対する直接投資」を重要施策として実施してまいりました。

また、とちぎテレビのデータ放送を活用し、地域に密着した市の情報を配信するサービスや、全国のコンビニで市税の納付手続きを可能にするなど、市民の皆様への利便性の向上にも努めてまいりました。

本年「卯年」は、卯が跳躍する姿から「飛躍する年」と言われており、本市も将来に向かって飛躍することができるよう、未来に向けての準備をしっかりと行つてまいりたいと考えております。

まず、最優先課題として位置付けております新庁舎の建設につきましては、行政効率の向上を図るため、合併特例債の活用期限であります平成28年3月までの供用開始を目指し、多くの市民の皆様へのニーズを反映するとともに機能性を重視しながら、シンプルで経済的な施設となるよう心がけ、「造つてよかった」と評価されるよう事業を進めてまいります。

また、本市の交流拠点施設となる道の駅「しもつけ」につきましては、本年春のオープンに向けて準備を進めているところであります。様々なイベントや地場農産物・加工品の販売などを通して本市の良さを全国にアピールしながら、地域活性化の実現に取り組んでまいります。

その他、住民基本台帳カードと全国のセブンイレブンのマルチコピー機を使用し、住民票の写しや印鑑証明書を交付できるよう、更なる市民サービスの向上に努めてまいります。

私は、市民の皆様が、「幸せと誇り」を感じながら、地域において安心して暮らすことができるよう、今後も、市の情報をタイムリーに発信し、市民の皆様との意見交換を図りながら、市民参画による「協働のまちづくり」を積極的に推進し、個性と活力のある魅力的なまちづくりに取り組んでまいります。

結びに、本年も市政への変わりぬご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。新しい年が市民の皆様にとりまして、素晴らしい年となりますよう心よりご祈念し、新年のご挨拶とさせていただきます。